

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

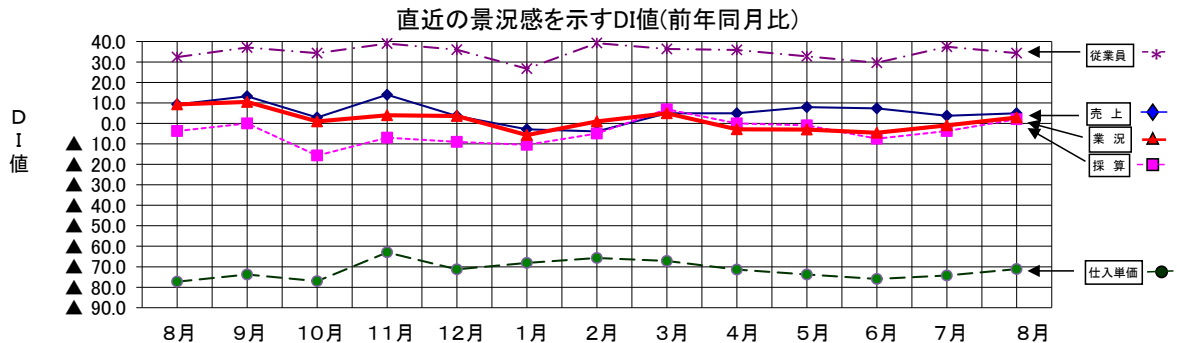
【8月の概要】

直近、先行き見通しともに全ての項目で改善傾向を示すも、依然として採用難やコストアップに苦しむ声が多い

直近の景況感を示すDI値は、「売上」が1.2ポイント、「採算」が5.7ポイント、「業況」が3.8ポイント、「仕入単価」が3.2ポイント、「従業員」が3.1ポイント改善。全ての項目で改善を示した。

先行き見通しを示すDI値も全ての項目で改善。その中で、「採算」は9.3ポイント、「仕入単価」は10.1ポイントと大幅に改善したが、いずれも依然としてマイナス水準に留まっている。

コメントでは、採用難やコストアップに苦しむ声が多く寄せられた。業種によってはコストアップした分を価格に転嫁することが容易ではないという厳しい現状が窺われる。



【直近の景況感を示すDI】※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2023年 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2024年 8月
売上	9.3	13.3	2.9	14.0	3.6	2.9	3.9	4.9	4.9	7.9	7.4	3.7	4.9
採算	▲ 3.7	▲ 0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5	▲ 4.9	6.9	0.0	▲ 1.0	▲ 7.4	▲ 3.7	2.0
業況	9.3	10.5	1.0	4.0	3.6	▲ 5.7	1.0	4.9	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 4.6	▲ 0.9	2.9
仕入単価	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1	▲ 65.7	▲ 67.2	▲ 71.4	▲ 73.8	▲ 75.9	▲ 74.3	▲ 71.1
従業員	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9	32.7	29.6	37.4	34.3

- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価3.2ポイント
- ・マイナスからプラスに転じたDI値：採算5.7ポイント、業況3.8ポイント
- ・プラス幅が増加したDI値：売上1.2ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲3.1ポイント（需給均衡局面へ）

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	9.3	▲ 2.8	3.7	▲ 57.4	34.3
7月	1.9	▲ 12.2	▲ 2.8	▲ 52.3	37.4
8月	6.9	▲ 2.9	2.0	▲ 42.2	35.3

- ・見通しが改善したDI値：売上5.0ポイント、採算9.3ポイント、業況4.8ポイント、仕入単価10.1ポイント、従業員▲2.1ポイント（需給均衡局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	ゼネコン	猛暑に対する熱中症予防対策として新たな商品投入を行っている。
	管工事業	新卒・中途採用が思うように進まない。人件費の高騰、機器・資材等の高騰により採算が悪化。
製造業	印刷	物価高、電気ガス等の値上げラッシュで国民が頭を悩ませているときになぜ追加利上げが発表されたのか疑問に感じる。
卸売業	青果	盆明けの消費の低下が心配。また夏商材に引き続き、高温、猛暑による秋商材の著しい品質悪化が心配される。
小売業	自動車販売	新車販売は対前年比91%前後で推移。物価高の影響が窺える。
	ホームセンター	夏休みや里帰りなど帰省需要の拡大に伴い、プール・海水浴関連の販売や清掃用品などの販売に期待できる。
サービス業	警備	物価高騰や人件費アップによる原価上昇の状況下において、コストアップ分を価格転嫁できていない。
	看板	求人を出してもフルタイムの応募者が無い上、入社しても長く続かず技術者の人手が不足し続けている。
	タクシー	佐渡金山の世界遺産登録により、観光客の増加が期待されることから、新潟市内での1泊旅行者に期待している。
	飲食	2019年から5年間かけて部分値上げを実施した結果、原材料・営業コストの上昇・人件費増を吸収し収益は増加した。